

2021年度 事業計画概要

特定非営利活動法人  
日本環境倶楽部

1. 事業環境と活動方針

2020年は、全世界が新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に陥り、社会や経済に大きな影響と変化をもたらしました。感染症の拡大はあらためてSDGs達成に向けた行動変容への大きなトリガーともなりました。

2021年は、菅新政権の脱炭素宣言に伴う諸施策の具体化進展や企業の戦略転換は必至で、また米国の政策転換もグローバル経済に影響する事が想像に難くありません。循環経済(CE)についても、新たな付加価値を生むビジネスとして捉える動きの進展が予想されます。またアフターコロナを踏まえた欧米日の経済政策もこれらの課題解決に資するものが中心であり、今後、一層の社会・経済の変革が加速されると考えます。

日本環境倶楽部は、このような認識の下、会員皆様のご支援により、昨年にも増し、環境課題を中心とした社会課題の解決に資する、啓蒙、啓発、研究活動を推進してまいります。

2. 個別事業の取組み

- ・気候変動、資源循環、環境政策等SDGs 達成に資するテーマとしたセミナー・講演会を定期的を実施してまいります。開催にあたっては産官学より該当テーマのキーマンに講師をお願いするなど、時宜をとらえた内容とし、これまで以上に充実したものを目指します。
- ・個別テーマを深耕していく研究会を開催し、ご参加頂く各社様の事業戦略の参考や事業機会の探索の場を提供してまいります。
- ・コロナウイルス感染の状況次第ではありますが見学会を開催し、三現主義の実践を通じ、経営や技術の向上・改善に資する、機会を提供します。
- ・会員及びその他の方々これらの活動に参画頂く事によりネットワーク拡大を目指します。

3. 予算の概要

(千円)

摘要	2021年度 予算(A)	2020年度 決算見込み(B)	差異 (A)-(B)	2019年度 実績	備考
経常収益	3,762	2,862	+900	4,247	2020年及び2021年の収益は2020年6月総会決議の新型コロナウイルス感染拡大に伴う会費還付・減額を反映していません。
経常費用 (内事業費)	3,528 (2,852)	2,689 (2,131)	+839 (+721)	4,044 (3,219)	
経常収支	234	173	+61	203	
期末正味財産	2,419	2,185	+243	2,012	

詳細は別紙の活動予算書をご参照ください

-以上-

特定非営利活動法人日本環境倶楽部  
(単位:円)

科目	金額		
I. 経常収益			
1. 受取会費	3,762,000		
2. 受取寄附金	0		
3. 事業収益	0		
4. 雑収入	0		
経常収益計			3,762,000
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	828,080		
(2) その他経費			
交通費	15,200		
修繕費	0		
通信費	87,840		
地代・家賃	66,480		
消耗品費	38,720		
印刷費	251,200		
外注費	1,199,600		
レンタル・リース費	5,280		
講師謝金	324,000		
会議費	36,000		
その他経費計	2,024,320		
事業費計		2,852,400	
2. 管理費			
(1) 人件費	207,020		
(2) その他経費			
交通費	3,800		
修繕費	0		
通信費	21,960		
地代・家賃	16,620		
消耗品費	9,680		
印刷費	2,800		
外注費	297,400		
レンタル・リース費	1,320		
図書費	3,000		
会議費	9,000		
他団体会費	40,440		
租税公課	3,000		
雑費	59,560		
減価償却費	0		
その他経費計	468,580		
管理費計		675,600	
経常費用計			3,528,000
当期経常増減額			234,000
III. 経常外収益			
経常外収益計			0
IV. 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			234,000
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			2,184,936
次期繰り越正味財産額			2,418,936

(注) 前期繰越正味財産額は本予算書策定時の見込です